

一般会計補正予算総額

1億3,199万円を減額

総額 **87億4,303万円**

一般会計補正予算の主なものは、令和4年度のふるさと応援寄付金（ふるさと納税）の実績を見込み、返礼品代、郵送代などを増額し、各種事業の実績見込み等による不要額を減額したことによる差額1億3,199万円の減となった。

歳出で増額された主な事業

事業名	増額となった経費など	金額
ふるさと納税事業	ふるさと応援寄付金返礼品・郵送代	2,981万円
機構改革対応業務	総合行政システム等の改修業務	187万円
おでかけ交通事業	乗合タクシーの利用者増に伴う事業費	677万円
出産・子育て伴走型支援事業	健康管理システムの改修業務	121万円
有害鳥獣対策事業	有害鳥獣の捕獲量の増加分の報償費	180万円

特別会計補正予算

会計名	補正額	補正後の額
国民健康保険事業会計	6,882万8千円	13億9,454万1千円
介護保険事業会計	△5,950万円	14億4,130万7千円
特別養護老人ホーム事業会計	△342万5千円	5億3,749万円
簡易水道事業会計	△813万3千円	1億1,403万6千円
下水道事業会計	△1,530万8千円	1億874万9千円
特定地域生活排水処理事業	△210万円	1億2,692万1千円
後期高齢者医療事業会計	2,005万9千円	2億1,141万8千円
病院事業会計	△1,875万3千円	6億1,096万8千円

国民健康保険事業会計の増額は、繰越金分
後期高齢者医療事業会計の増額は、後期高齢者の保険料分

総額 **117億6,410万円**

令和5年
3月
定例議会
報告

令和5年3月定例会は、3月6日から13日までの8日間の会期で開会され、初日には、条例案や町長提出議案の説明がされた。また、副議長辞職の件、議員辞職の件が追加日程で上程され可決された。

7日、8日の2日間で8名の議員より一般質問が行われ、9日、10日には担当課より当初予算の説明を聞き取り、各常任委員会による当初予算審査が実施された。

13日には条例案や町長提出議案、議員発議等の審議採決となり、令和5年度当初予算など38議案（条例15件、令和4年度補正予算9件、令和5年度当初予算9件、その他1件、人事1件、発議2件、発委1件）それぞれ可決、同意された。

一般会計当初予算では反対討論1名、賛成討論1名が討論を交わし、採決では反対3名、賛成7名の賛成多数で可決された。

また、当初予算の採決後、追加日程で議案第29号令和5年度和水町特別養護老人ホーム事業会計当初予算に対する付帯決議の件が、厚生建設経済常任委員長より発議され、1名による反対討論があったが賛成多数により可決された。

会計名		令和5年度当初予算額
一般会計		81億7,731万1千円
特別会計	国民健康保険事業会計	13億4,819万8千円
	介護保険事業会計	14億7,099万1千円
	特別養護老人ホーム事業会計	5億6,257万8千円
	春富財産区特別会計	95万1千円
	後期高齢者医療事業会計	2億 407万3千円
	小計	35億8,679万1千円
合計		117億6,410万円

※簡易水道事業会計、下水道事業会計、特定地域生活排水処理事業会計は地方公営企業法の適用により、公営企業会計へ移行しました。

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第26号	当初予算	令和5年度 和水町一般会計予算	原案可決
議案第27号	当初予算	令和5年度 和水町国民健康保険事業会計予算	〃
議案第28号	当初予算	令和5年度 和水町介護保険事業会計予算	〃
議案第29号	当初予算	令和5年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計予算	〃
議案第30号	当初予算	令和5年度 和水町簡易水道事業会計予算	〃
議案第31号	当初予算	令和5年度 和水町下水道事業会計予算	〃
議案第32号	当初予算	令和5年度 和水町春富財産区特別会計予算	〃
議案第33号	当初予算	令和5年度 和水町後期高齢者医療事業会計予算	〃
議案第34号	当初予算	令和5年度 和水町病院事業会計予算	〃
議案第35号	その他	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について	〃
同意第1号	人事	和水町教育委員会委員の任命について	原案同意

議員提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
発議第1号	その他	和水町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決
発委第2号	その他	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書の提出について	〃
発議第2号	その他	議案第29号 令和5年度和水町特別養護老人ホーム事業会計当初予算に対する付帯決議の件	〃

3月定例会賛否一覧表

賛否が分かれた議案だけを掲載
○は賛成 ×は反対 ーは欠席

議 案		議員名	亀崎清貴	千々岩繁	木原泰代	荒木宏太	白木淳	齊木幸男	坂本敏彦	竹下周三	秋丸要一	笹淵賢吾	高木洋一郎
			議案	賛否	賛否	賛否	賛否	賛否	賛否	賛否	賛否	賛否	賛否
議案第26号	当初予算	令和5年度 和水町一般会計予算	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	※
発議第2号	その他	議案第29号 令和5年度和水町特別養護老人ホーム事業会計当初予算に対する付帯決議の件	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	※

討論

議案第26号

反対：白木議員 賛成：荒木議員

発議第2号

反対：齊木議員

※議長は可否同数または特別議決の時以外表決に参加しません。

■人／事／案／件■

3月定例会において、和水町教育委員会委員の選任について上程され次のとおり同意されました。

○和水町教育委員会委員 坂口 幸裕（馬場）

3月議会議案審議

採決結果

条 例： 15件
補 正 予 算： 9件
当 初 予 算： 9件
そ の 他： 1件
人 事： 1件
計 35件

町長提出議案一覧

議案番号	区 分	議 案 名	審議採決の結果
議案第2号	条例	和水町個人情報保護法施行条例の制定について	原案可決
議案第3号	条例	和水町情報公開・個人情報保護審査会条例及び和水町公の施設の指定管理者の指定の手続に関する条例の一部改正について	〃
議案第4号	条例	和水町総合支所設置条例等の一部改正について	〃
議案第5号	条例	和水町課設置条例等の一部改正につい	〃
議案第6号	条例	公益的法人等への和水町職員の派遣等に関する条例の制定につい	〃
議案第7号	条例	和水町報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	〃
議案第8号	条例	和水町宅地分譲条例の廃止について	〃
議案第9号	条例	和水町国民健康保険条例の一部改正について	〃
議案第10号	条例	和水町国民健康保険税条例の一部改正について	〃
議案第11号	条例	和水町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	〃
議案第12号	条例	和水町附属機関設置条例の一部改正について	〃
議案第13号	条例	和水町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第14号	条例	和水町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第15号	条例	和水町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〃
議案第16号	条例	和水町社会体育施設設置及び管理に関する条例の一部改正につい	〃
議案第17号	補正予算	令和4年度 和水町一般会計補正予算（第6号）	〃
議案第18号	補正予算	令和4年度 和水町国民健康保険事業会計補正予算（第5号）	〃
議案第19号	補正予算	令和4年度 和水町介護保険事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第20号	補正予算	令和4年度 和水町特別養護老人ホーム事業会計補正予算(第4号)	〃
議案第21号	補正予算	令和4年度 和水町簡易水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第22号	補正予算	令和4年度 和水町下水道事業会計補正予算（第4号）	〃
議案第23号	補正予算	令和4年度 和水町特定地域生活排水処理事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第24号	補正予算	令和4年度 和水町後期高齢者医療事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第25号	補正予算	令和4年度 和水町病院事業会計補正予算（第4号）	〃

住んで良かった！ 住み続けたい！ 和水町のために

令和5年度 特別会計当初予算

総 額：35億8,679万円

特別会計当初予算の内訳

国民健康保険事業会計  13億4,819万8千円	介護保険事業会計  14億7,099万1千円	特別養護老人ホーム事業会計  5億6,257万8千円
後期高齢者医療事業会計  2億407万3千円	春富財産区特別会計  95万1千円	

令和5年度 公営企業会計当初予算

総 額：14億2,935万円

公営企業会計当初予算の内訳

下水道事業会計  3億1,482万8千円	町立病院事業会計  10億5,096万3千円	簡易水道事業会計  1億5,535万7千円
--	--	---

令和5年4月1日から簡易水道事業会計、下水道事業会計、特定地域生活排水処理事業会計は地方公営企業法の適用により、公営企業会計へ移行しました。

また、特定地域排水処理事業会計は下水道事業会計と一本化しました。

令和5年度 一般会計当初予算

総額 81億7,731万円

歳 入

自主財源 (単位：千円)			依存財源 (単位：千円)		
	令和4年度	令和5年度		令和4年度	令和5年度
町税	853,343	927,146	地方交付税	79,560	78,734
町民税	314,826	334,654	利子割交付金	427	170
固定資産税	430,660	480,823	配当割交付金	1,800	1,800
軽自動車税	50,526	51,670	株式等譲渡所得割交付金	1,200	1,200
町たばこ税	54,943	57,552	法人事業税交付金	10,437	10,437
入湯税	2,388	2,447	地方消費税交付金	199,000	242,176
分担金及び負担金	28,590	14,421	ゴルフ場利用交付金	10,700	10,700
使用料及び手数料	38,337	41,102	環境性能割交付金	3,906	3,800
財産収入	8,356	7,928	地方特例交付金	6,100	3,800
寄付金	610,000	703,000	地方交付税	3,100,000	3,200,000
繰入金	490,185	803,555	交通安全対策特別交付金	1,350	1,300
繰越金	53,554	1	国庫支出金	660,950	715,450
諸収入	90,828	27,713	県支出金	399,479	427,378
小 計	2,173,193	2,524,866	町債	505,100	955,500
			小 計	4,980,009	5,652,445

*この表の用語は、次のように定義します。
自主財源とは、町が自ら徴収又は収納できる財源
依存財源とは、国・県から交付される財源と国等から借り入れる財源

歳入合計 令和4年度 7,153,202千円 令和5年度 8,177,311千円

歳 出

	令和4年度	令和5年度	増減率(%)
議会費	80,295	87,304	8.7
総務費	1,615,763	1,714,204	6.1
民生費	1,834,421	1,896,756	3.4
衛生費	811,367	830,997	2.4
農林水産業費	208,892	229,826	10
商工費	115,620	201,394	74.2
土木費	624,037	853,165	36.7
消防費	288,855	287,960	△0.3
教育費	507,079	1,071,751	111.4
災害復旧費	46,873	17,954	△61.7
公債費	1,000,000	966,000	△3.4
予備費	20,000	20,000	0.0

歳出合計 令和4年度 7,153,202千円 令和5年度 8,177,311千円 増減率14.3%



総務文教常任委員会

令和5年度予算審査報告

委員長 荒木 宏太

令和5年3月9日、10日の2日間の日程で、令和5年度当初予算の関係所管である、まちづくり推進課、商工観光課、学校教育課、税務住民課、社会教育課、会計室、議会事務局、住民課、総務課に関係資料等をもとに関係課長等の説明を求め、慎重に審査を行いました。

ふるさと応援寄付金 目標額7億円

Q 返礼品は企業と懇親を深めるなど協力できているか？

A 企業と共同開発等できている。

教育費・公務用PCリース料 315万円

Q 月35万円ほどの非常に高額なリース料となるが購入はできないのか？

A プログラムに特化したPCとなる為リース料が高額となっている。

内田工業団地境界復元測量業務委託料 960万円

Q 企業誘致に向けて現状での売却を予定しているのか？

A この状態で手を挙げていただける企業がいれば、というところの運びをしたい。

交通安全施設整備事業 344万円

Q どの程度カーブミラーを修繕するのか？

A 要望が上がっている所を全て確認し、厳選して修繕をしていく。

消費者行政事業 117万円

Q 消費者問題はこういった相談があるか？

A インターネット等でのトラブルの相談があり、相談員が問題解決にあたる。

議案第26号 令和5年度和水町一般会計予算

議案第27号 令和5年度和水町国民健康保険事業会計予算

議案第32号 令和5年度和水町春富財産区特別会計予算

議案第33号 令和5年度和水町後期高齢者医療事業会計予算

委員会の当初予算審査として以上の4件、いずれも賛成多数により原案可決とすることといたしました。少数意見の留保として、会計年度任用職員が多いように感じる。職務の責任もある為、今後正職員の増員を考えた方が良いとの意見も出ました。

厚生建設経済常任委員会

令和5年度予算審査報告

委員長 竹下 周三

当委員会が担当する農林振興課・農業委員会・建設課・福祉課・町立病院・保健子ども課・特別養護老人ホームに係る当初予算審査の中から主たる事業を紹介します。

農林振興課 2億700万円

農振農業用地の全体見直し。

中山間地域直接支払い事業54集落 5,213万円

多面的機能支払交付金事業 1,856万円

農業収入保険、保険料の一部助成や、ため池ハザードマップ作成等が予定されている。

森林環境譲与税を活用して荒廃竹林整備や危険木伐採の支援等が計画されている。

福祉課 24億511万円

介護予防生活支援事業費として体力や筋力低下がみられる高齢者に対して短期的、集中的にトレーニングを実施する「通所サービスC型」に343万円が新たに計画されている。

和水町立病院 10億5,096万円

事業管理者を中心にして職員の意識改革を図り、少子高齢化による人口減少推計を考慮して、確かな目標を持って最良の医療を地域住民に提供される事を期待する。

農業委員会 2,382万円

農地の利用状況調査を行い、無断転用防止、耕作放棄地解消を目指し、農林振興課と連携し、地域ぐるみで地域計画の策定を行う。

建設課 14億2,935万円

町道改良工事費として、町道岩線整備事業に1億4,530万円を計上している。また、通学路緊急対策事業として、町道牧野小田線の歩道の整備、町道中路江光寺線のカラー舗装に6,414万円を計上している。

簡易水道会計の主な事業は、江田交差点改良に伴う配管工事等に5,718万円が計上されている。

下水道事業会計の主な事業は、宅地造成予定地と新規住宅への管渠工事経費、2,220万円浄化槽設置経費28基4,050万円が計上されている。

保健子ども課 6億7,209万円

保育園の副食費無償化等、子ども達の健やかな成長を支える支援を計上。児童手当給付、ひとり親家庭等や、医療費助成も充実。胎児期から高齢期に至る生活習慣病の発症と重症化予防のための事業が計画されている。

特別養護老人ホーム

入所待機者の減少や人手不足による部署再編による入所者の減少やショートステイ事業の休止、デイサービス利用者の減少が主な要因で収入が減少している。

※なお、きくすい荘建て替え事業経費として1億1,700万円については、付帯決議を提出することとした。

(10ページ参照)

国会議員への陳情と山梨県身延町への行政視察研修

議会運営委員長 坂本 敏彦

令和5年1月18日から1月20日の日程で、熊本県選出国会議員への陳情と山梨県身延町に行政視察研修を行いました。

18日は、衆議院議員 西野太亮議員、参議院議員 松村祥史議員、馬場成志議員、藤木真也議員、本田顕子議員の議員会館事務所において、和水町管内における県道の道路整備促進について陳情を行いました。本町の県道は、通勤、通学はもとより、地域の経済活動にも重要な路線であるため、「大牟田植木線」、「和仁菊水線」など、未整備区間の早期完成について陳情いたしました。また、福岡県南部地域と熊本県北部地域の経済・観光等の発展に大きく寄与する八女市を結ぶ「玉名八女線」。県境部分に位置する矢部谷峠区間の円滑な通行のための隧道（トンネル）整備についても陳情いたしました。

また、農業が基幹産業である和水町、高齢化による担い手不足、肥料、燃油、資材高騰等、農業を取り巻く環境は年々厳しくなる一方のため、対策を講じて頂くよう強く要望したところです。

翌日19日は、山梨県身延町で、町内公共交通と議会タブレット導入について研修を行いました。

山梨県身延町は平成16年に身延町、下部町、中富町の3町が合併し、人口10,422人、世帯数5,159世帯、高齢化率は県内で最も高い48.82%。面積は301.98km²、県南部に位置し、町の中央を流れる日本三大急流「富士川」と東西に連なる急峻

な山岳地帯が広がり、千円札の逆さ富士のモデルとなった自然豊かな町です。

町内は山間部に集落が点在し、独居高齢者も多いため、公共交通の確保は喫緊の課題となっています。民間バス路線の廃止に伴い、その対策として町営バス4路線、デマンド型の乗合タクシーなどを運行。バス2台、乗合タクシー6台を保有し、運行主体は身延町地域公共交通活性化協議会とし民間事業者3社に運航委託されています。

次に、議会タブレット導入について研修を行いました。

身延町では、令和4年1月からタブレット端末を導入し、定例会等の議事日程、議案はすべてタブレットで対応し、必要に応じて一部紙での配付を行っています。今後はオンライン会議でも活用できるようアプリ導入を検討している状況でした。

今回の研修で、道路整備については、こまめな陳情、要望を行っていく事が重要であり、隧道（トンネル）整備については、県議、国会議員を通して、熊本県、福岡両県に対して要望していく必要があると感じました。

また、公共交通については、現在のあいのりくんの利用者増に向けた取組、地域の実情に応じ検討する必要性や議会でのタブレット導入、ペーパーレス化による経費の削減も期待できるため、早急に取り組むべきものであると感じました。



令和5年度和水町特別養護老人ホーム事業会計当初予算に対する付帯決議

本予算案には、特別養護老人ホーム「きくすい荘」建て替え事業のための経費1億1,700万円が計上されている。

この事業は当該施設の老朽化及び耐震性能不足などから建て替えが検討されてきたが、建て替え後の事業収支予想は、公設公営で事業継続する場合には、今後も毎年7,000万円程度を一般会計から補填する必要があることが判明している。

以上のことから、本町議会としては、この事業予算の執行に当たり、下記事項に取り組むよう強く求めるものである。



- 1 本事業の進め方については、民間資本や能力を活用したPPP及びPFI事業について検討し、その可否と理由説明を議会に対して行うこと
- 2 町民に対して、建設の経緯や経営状況及び今後の予定等の説明を町広報紙やホームページだけではなく、町民との直接対話を実施すること
- 3 執行部は民間譲渡の方針を打ち出していることから、早期に移譲先の検討を進めること
- 4 上記1及び2の要求が達せられるまでは、当該事業経費の執行は留保すること

上記決議する

※附帯決議とは、可決された案件に対し、事業を執行する上での要望や留意事項を述べるために提出されるもの。法的拘束力を有しない。

議 会 人 事 報 告

令和5年第1回定例会において、蒲池恭一氏が副議長を辞職されたことに伴い、坂本敏彦氏が副議長に就任しました。



新副議長
さかもと としひこ
坂本 敏彦 氏

副議長挨拶

令和5年第1回定例会において、和水町議会副議長の要職に就かせていただく事になり大変、光栄と同時に責任の重大さに身の引き締まる思いをしております。この期待に沿うよう精進し、副議長の職を邁進いたしますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

令和5年第1回定例会で蒲池恭一氏から議員辞職願が提出され承認されました。これにより議員は11名（定数12名）となりました。



かまち きょういち
蒲池 恭一 氏

ふるさと「和水町」を守りたい、との思いで、県議選に出馬するために、副議長・議員辞職を致しました。町民の皆様方には4期13年お世話になりました、ありがとうございました。和水町が誕生し18年目を迎える中、更に町民の皆様方が1つに成れる様に、切望致します。二元代表制の一翼を担う町議会が、町民の皆様方の目線に立ち、町発展のため、頑張ってくださいようお願い申し上げます。心から御礼申し上げます。ありがとうございました。



竹下 周三議員

ふるさと納税 返礼品の充実強化を!!

問 ふるさと納税の状況は。

答 (町長) 令和3年度、7億円を超えたが、4年

度の寄附金額は下がる見込みだ。

問 その要因は。農産品の品切れがあるのではないか。

答 (まちづくり推進課長) 市町村の競争激化や本町返礼品そのものの数量が影響していると思われる。中間業者と協議し、和水町産品のPRを行う。又、返礼品が増加する様、加工品等の開発支援や、施設の整備支援が出来るような補助金制度等も取り込み、事業者様に支援をしていく。

問 ふるさと納税は生まれ育った故郷に貢献する、恩返しをすることが本来の意義ではないか。

答 (町長) 本町出身者の皆様に率先してPRして参る。

問 行政区担当職員制度について、日当等職員との意見交換をして理解されているのか。

答 (総務課長) 2月8日、議会説明の次の日、全職員に説明をした。

答 (町長) 地域に根差した職員又、地域の課題解決のために頑張る職員を育成したい。その為には議論を交わし、この制度を進めていきたい。

問 金栗生家の活用について、近年は予約制度等も絡み、観光客が減少しているのではないか。

答 (町長) 文化施設か観光施設かという事で、若干行政側としても戸惑っている部分もある。

問 黎明の鐘、又は金栗銅像の要望書が提出されているが、どうなったか。

答 (町長) 黎明の鐘は、地域住民にご迷惑になるのでは無いか等、検討事項であり、ストップしている。銅像の設置については、設置の方向で進める。また、土日開館等、展示物増加も含めて観光客の方々に期待して頂けるような取り組みをしていく。

特老きくすい荘の運営は 文化財と観光は

問 特老きくすい荘の運営は。

答 (町長) 建替は令和5年度に各種調査設計、令和6年度に造成工事、令和7年度に建築工事を予定し、令和8年度の供用開始を目指す。早期民営化を目標に経営改革に努め、令和9年度に指定管理者を導入、令和13年度に民間譲渡を目標に職員と共に真摯に取り組む。

問 人の一生、将来の生活がかかっている。きくすい荘の職員の身分保障も十分に考慮して経営改革を進めていただきたいと提言する。

答 (町長) 入所者の安心安全な暮らしを守る事が第一。経営改革は必要。職員の身分保障も考えなければならぬ。調査研究し、よりよい方向に導いていきたい。

問 町の歴史的資料をデジタル化して保存し、有効活用しては。

答 (社会教育課長) デジタル化は避けては通れぬ道と思う。

特老職員の身分保障は 道路整備と防災は

問 江田船山古墳発掘150年。観光客誘致と経済活性化に結びつける必要があるのでは。

答 (町長) 誘客に努める。

問 韓国公州市と姉妹都市44年目。インバウンド復活の工夫は。

答 (町長) 観光客誘致を検討する。

問 令和3年6月一般質問後の南校区の避難所の取り組みは。

答 (町長) 防災会議で菊水小学校体育館に変更、周知している。

問 萩原区から江田高野線方面や榎原区前野区方面、また山鹿市へ町道や林道を開通させれば防災や森林資源の活用が良いのでは。

答 (町長) 多額の費用がかかる。



齊木 幸男議員



秋丸 要一議員

小中学校の給食費無償化は貧困対策にも関連しており 少子化対策の切り札となるか!

問 令和5年度に成し遂げたい最優先重点政策の3項目は何か。

答 (町長) まず、小中学校給食費の無償化、そして保育園の副食費無償化、わくわく子育て応援金などを新設し事業を展開して参る。2番目に特別養護老人ホームきくすい荘の改築事業。3番目は組織再編になる。行政改革推進室を設置し職員の意識改革スキルアップに取り組みたいと考えている。

問 給食費無償化の提案理由について説明を問う。

答 (町長) 少子高齢化に対応するために子育て応援メニューの一つとして給食費の無償化を提案した。

問 全国で約30%の自治体が給食費無償化を実施しているが、管内の自治体はどれくらいあるか。

答 (学校教育課長) 玉東町、荒尾市は小学校のみ。南関町は小中学校一律2,000円の補助をされてい

る。それから県内では今年度から宇城市、芦北町、球磨村などが実施計画予定だ。

問 給食費無償化について住民の理解を得るにはどのように対応するのか。

答 (町長) 人口減少、少子高齢化という課題を共通の認識としてご理解いただけるように努める。

問 財源については。

答 (町長) ふるさと納税を財源と考えている。

問 岸田首相が視察訪問した岡山県の奈義町。ここは2005年の合計特殊出生率が1.41から約20年で2.95まで上がった。子育て応援宣言の町として全国的に有名になっている。各種の手厚い政策を打ち出して子育て応援している町だ。この点について町長の感想は。

答 (町長) 全国でもトップレベルの優良事例で、先進事例を勉強して今後の子育て支援策に生かしたいと考えている。

学校給食費無償化は国ですべき!!

問 各小中学校において食育を実施されているが、どのような取り組みをしているか。

答 (教育長) 生徒の発達段階に応じて、食生活に対する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、学校教育活動全体で食に関する指導に当たり家庭や地域と連携しながら食育の推進を図っている。

問 お箸の持ち方などの作法や行儀の悪い子どももいるが親にも多い。授業参観など親子で食育について考えたり作法を教えたりは考えないか。

答 (教育長) この3年間はコロナ禍の状況であったので、保護者の方に試食会等もご遠慮いただいたが、今年は少し取り組みが復活したという状況。以前は親子で給食を一緒に食べて、給食の大切さや栄養のバランスなどを学ぶ機会もあったと聞いて

いる。菊水小中学校ではお箸のマナーなどの情報を盛り込んだ「給食ばくばくだより」という広報を出し周知している。

問 学校給食費無償化は国ですべきと思うが、町から国に対して要望書などは提出したか。

答 (町長) 要望書等提出したことはない認識している。

問 物価高騰などで給食費の単価を上げる場合、学校給食共同調理場運営委員会で迅速な話し合いはできるのか。

答 (教育長) 今年度も10月に物価高騰というところで値段のことをお話しした。時期に応じてそういう場合にはご意見を伺うようにしたい。



白木 淳議員



木原 泰代議員

子育て支援で強化したいこと、財源について 性的少数者の方々への理解と支援について 若い人を子宮がんから守るには

問 子育て支援充実・強化とその財源を問う。

答 (町長) 子どもを生みやすい、生みたいと思う、

子育てしやすい環境づくりを目指し、公園の整備、給食費の無償化、出生から高校生までの応援金の給付、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援体制を充実する。財源はふるさと納税、過疎債などを活用する。

問 子育てに関する意見をどのように政策に活かしていくか。

答 (町長) 子育て世代との座談会を行った。今後さまざまな意見を聞き反映させていく。

問 こども家庭庁発足に向けて体制は充分か。

答 (保健子ども課長) 国等の補助事業を活用しながら専門職や事務職の適正配置をする。

問 町は性的少数者の方々への配慮をどのように考えているか。

答 (町長) 性的少数者への関心を高め、正しい知識を深めていくことが重要と考えている。

答 (教育長) 職員研修をはじめ町民向けの啓発を行いながら性の多様性について正しく理解できるよう努める。

問 子宮がんの原因となるHPVウイルス感染を防ぐワクチン接種の状況を問う。

答 (町長) 積極的勧奨となり、接種が増えている。副反応の不安をお持ちの保護者も少なくない。安心して接種をしていただけるよう取り組む。

問 子宮がん検診の受診状況は。

答 (保健子ども課長) 令和4年度の受診者は390名。今後も子宮がんを予防するため、受診率向上等、啓発を行っていく。

町の将来像について

問 子育て支援の具体的施策について問う。

答 (町長) 子ども子育て応援メニューとして結婚、妊娠、出産、子育て、教育、医療、住宅支援と切れ目のない事業を、ライフステージ毎に継続的に子どもを持つ世帯へしっかり支援していきたい。

問 中学生へのアンケートで85%が町に愛着を感じているが34.3%が町外に住みたいと考えている。このデータについてどう考えているか。

答 (まちづくり推進課長) 非常に残念な結果になったと感じている。課題を整理しながら住み続けたいまちづくりに今後も取り組んでいきたい。

問 人口減少の一因として町内から町外に転出された数を問う。

答 (まちづくり推進課長) 220名が転出されている。20歳から49歳で7割を占めている。

問 地域づくり活動に関して町民の3割が参加していない、参加するつもりはないと答えておられ

るが町政に関心を持っていただくために手立て等を問う。

答 (町長) 町民の皆様にも現状を理解していただく必要がある。広報紙などで特集し今後の人口推移見込みなどをお知らせしたい。

問 子育てに対する決意を問う。

答 (町長) 以前の出生数を回復するというのが目標。子どもたちがこの町で生まれ、この町で育ち、住んで良かった・住み続けたいと思えるまちづくりを率先して行いたい。

問 保育所の延長保育が現在19時までだが20時まで延ばせないか問う。

答 (保健子ども課長) 夜勤を伴う業務の保護者の方から必要な情報があればニーズに応じて補助事業を活用しながら広域的な取り組みを検討していく。



千々岩 繁議員

「きくすい荘」の建て替えと運営状態について

問 「きくすい荘」現在の運営は赤字経営が続いており経営の見直しが急務と考えるが今後の対策は。

答 (町長) 毎年6,500万円程度の赤字が続いている。赤字の要因は高い人件費であり、令和4年度は待機者数の減少・人手不足などの理由で1億3,000万円程度の赤字を見込んでいる。令和5年度は、経営コンサルの経営指導を仰ぎながら経営状況を分析する。

問 国などからサービス収入として得られる加算利用料や事業を精査し、役場や病院と連携しながら更にサービス収入が得られるようにと思うが如何か。

答 (特養施設長) 加算には要件があるが、取れるものは取っていくという姿勢で臨みたい。

問 令和3年度の議会への説明では人員配置が国の基準値を満たしていないということから、令和4年度から3部署から2部署に変更し建て替え後の入所者数を110名から80名体制に切り替えて

年間1,000万円以上の黒字に転換するとの説明があったと伺ったが如何か。

答 (特養施設長) 当時は経営状況を鑑み黒字の計画を出していたが、その後、精査し人件費が課題であり見直しをさせていただいた。

問 人件費の計算で黒字という説明から6,500万円や1億3,000万円の赤字とどのような計算を図ったらそのような差が生じるのか。

答 (特養施設長) 当初の計画では人件費を削減する計画であったが、人手不足もありそこまで削減できなかった。

問 きくすい荘の建て替えは住民への説明や理解が急務と考えるが今後、どのように図っていくのか。住民説明会等は開かれぬのか。

答 (町長) 広報紙・ホームページを考えている。近隣住民や関係者には必要に応じて説明する。

その他の質問

- ・PFI・PPPの活用について
- ・企業誘致と工業団地整備について

R5年度の乗合タクシー拡充は？ 子どもと遊べる公園整備は？ 有機農産物を学校給食に 畜産を守るため国県に働きかけを

問 令和5年度施策の乗合タクシー拡充、公園整備について問う。

答 (まちづくり推進課長) 乗合タクシーは4月から春富区については南関町に町外乗り入れはOKが出た。岩地区は山鹿市のバスセンターまで行ける、相互乗り入れの準備をしている。

答 (商工観光課長) 公園は道の駅菊水周辺と三加和温泉付近で準備を考えている。

問 ウクライナ危機と円安によって2年間で配合飼料価格は1.5倍に高騰し子牛価格も大暴落。国は酪農経営改善緊急支援事業として乳用牛1頭処分するごとに20万円の補助金を出す政策だが酪農家からは「補助金は牛を殺すためではなく生かすためにこそ出すべきだ。」「1日コップ一杯多く牛乳を飲んでほしい。それが酪農家にとっては一

番の支えです。」とされている。町内畜産農家の経営状態を調査し高騰す

る飼料の補てんをすること。県や国に畜産農業を守るよう支援の呼びかけを。

答 (農林振興課長) 消費拡大につながるような取り組みや国県への要望は行いたい。

問 国は有機農業を推進し、補助している。有機農産物を学校給食に使用する取り組みが広がり2018年度は55市町村、2020年度は115市町村になり熊本県内では南阿蘇村、人吉市、山都町がある。町でも取り組むべきでは。

答 (町長) 町内の有機野菜等を給食に提供できれば、子どもたちの食育にも大変いいと考えるので教育委員会と協議し検討したい。



笹淵 賢吾議員